

図 4-2-2 チュウウサギ・オオヨシキリ確認位置

4-3 カスミサンショウウオ

4-3-1 調査概要

カスミサンショウウオの産卵期である3月に事業実施区域及びその周辺を踏査し、卵嚢を主とする確認調査を実施しました。

また、移殖地の環境整備を本種の調査前に実施しました。

4-3-2 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は表 4-3-1 に示したとおりです。

表 4-3-1 調査年月日及び調査内容

調査年月日	調査内容
平成 26 年 1 月 27 日	環境整備（水路整備、除草）
平成 26 年 3 月 6、7 日 平成 26 年 3 月 15 日 平成 26 年 3 月 26、27 日	卵嚢、成体確認調査

4-3-3 調査場所

調査は事業実施区域のうち未改変区域であるⅢ期工事区域及びその周辺としました。

調査場所は図 4-3-1 に示したとおりです。

4-3-4 調査方法

過年度の調査で卵嚢等を確認した地域を中心に踏査し、卵嚢や成体の確認を行いました。

卵嚢等を確認した場合は、確認地点の位置、卵嚢数、卵数、水温、pH、産卵地の状況等について記録しました。

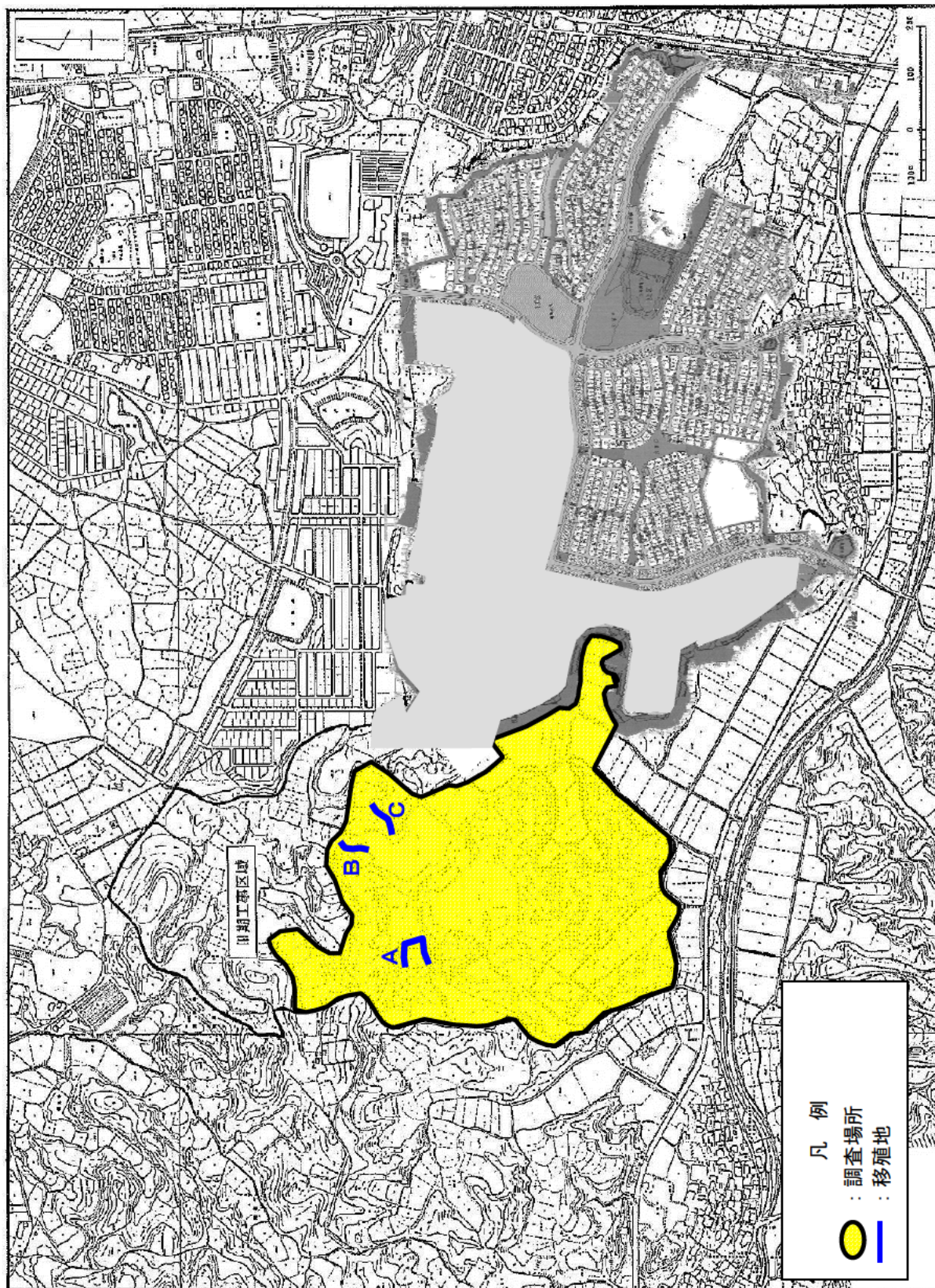


図 4-3-1 カスミサンシヨウウオウオ調査場所

4-3-5 調査結果

卵囊・成体の調査結果及び確認地点の水質等は表 4-3-2 に、確認地点は図 4-3-2 に示したとおりです。また、確認した卵の発生段階の推移は表 4-3-3 に示したとおりです。

なお、卵の発生段階については「トウホクサンショウウオ発生段階図」（資料参照）を準用し、現地で判定したものを記載しました。

今回の調査では、移殖地 3 地点（地点 A、B、D）において計 15 対と 0.5 対 4 卵囊（計 34 卵囊）を確認しました。1 卵囊あたりの卵数は 31～108 卵で、1 対あたりでは平均 121.7 卵でした。

卵囊確認地点は、放棄水田や溝等の水溜りで、水温は 5.7～14.1℃、pH は 6.3～6.5、水深は 4～9cm でした。

成体については、3 月 6 日の D 地点で 1 個体を確認しました。

移殖地別でみると、移殖地 A の水路で 4 対（8 卵囊）を、移殖地 B の水路で 11.5 対（23 卵囊）を確認しましたが、移殖地 C の水溜りでは確認されませんでした。移殖地 C における産卵地及びその周辺の環境は、産卵を確認した平成 20 年度の環境と大きな変化はみられません。

これら移殖地で確認した卵囊が、移殖（卵囊）個体による産卵か、以前よりこれらの場所を産卵地として利用している個体が産卵したものかについては不明です。

また、今回 D 地点で確認された 3 卵囊は、調査終了後の 3 月 27 日に、移殖地 B に移殖しました。

なお、これまでの事後調査におけるカスミサンショウウオの確認状況は表 4-3-4 に示したとおりです。

調査の状況及び卵囊確認状況等は、資料編の写真 2-4-1～26 に示したとおりです。

表 4-3-2 カスミサンショウウオ調査結果

調査年月日	地域	卵No	成体数	対	(卵囊数)	卵数		全卵数	(うち死卵数)	水温(°C)	pH	水深(cm)	地点状況及び底質の状況	発生段階
平成26年3月6日	D	D-01	1	0.5	1	55		55	0	7.7	6.5	8	コンクリートにうっすら落葉、泥	A-B
		D-02	0	1	2	78	75	153	0	7.7		8		C
平成26年3月7日	A	A-01	0	1	2	64	62	126	0	5.7	6.3	8	斜面下素掘り水路、落葉枝多い、泥質	A
		A-02	0	1	2	54	48	102	0	5.7		8		A
		A-03	0	1	2	40	36	76	3	5.7		8		A
	B	B-01	0	1	2	81	84	165	0	9.2	6.5	5	素掘り水路、落葉多い、泥質	A
		B-02	0	1	2	43	47	90	0	9.2		6		A
		B-03	0	0.5	1	66		66	0	9.2		5		B
		B-04	0	1	2	43	47	90	0	9.2		6		A
		B-05	0	1	2	60	64	124	3	9.2		6		A-B
		B-06	0	1	2	61	63	124	10	9.2		6		A-B
平成26年3月15日	B	B-07	0	0.5	1	58		58	43	14.1	6.5	7	素掘り水路、落葉多い、泥質	A-B
		B-08	0	1	2	48	55	103	23	14.1		6		A-B
		B-09	0	0.5	1	68		68	0	14.1		4		C
平成26年3月26日	B	B-10	0	1	2	108	41	149	0	14.1	6.5	7	素掘り水路、落葉多い、泥質	A-B
		B-11	0	1	2	93	88	181	0	14.1		7		B-C
		B-12	0	1	2	61	58	119	0	14.1		9		A
		B-13	0	1	2	35	31	66	34	14.1		7		B-C
平成26年3月27日	A	A-04	0	1	2	76	78	154	0	12.1	6.3	7	斜面下素掘り水路、落葉枝多い、泥質	A-B

表 4-3-3 確認した卵囊の発生段階の推移

No	卵No	調査年月日		
		平成26年3月6日 平成26年3月7日	平成26年3月15日	平成26年3月26日 平成26年3月27日
A	A-01	A	A-B	—
	A-02	A	A-B	—
	A-03	—	A-B	—
	A-04	—	—	A-B
B	B-1	A	A-B	B-C
	B-2	A	A-B	B-C
	B-3	B	C	C-D
	B-4	A	A-B	B-C
	B-5	A-B	欠損	欠損
	B-6	A-B	A-B	B-C
	B-7	—	A-B	B
	B-8	—	A-B	B-C
	B-9	—	C	C-D
	B-10	—	—	A-B
	B-11	—	—	B-C
	B-12	—	—	A
	B-13	—		
C		卵囊確認なし		
D	D-1	A-B	A-B	A-B
	D-2	C	C-D	D-E
E		卵囊確認なし		
F		卵囊確認なし		

注：表中の発生段階の説明は資料編の「トウホクサンショウウオ発生段階図参照」

表 4-3-4 カスミサンショウウオの過去の確認状況

種 名	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
カスミサンショウウオ	○	○	○	○	○	○	○	○	○

種 名	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
カスミサンショウウオ	○	○	○	○	○	○	○

注：「○」は確認、「×」は未確認を示す。